



社会福祉法人 吉備路の会

吉備路学園

第45号

平成28年2月20日 発行

発行

社会福祉法人 吉備路の会
吉備路学園
〒719-1155
岡山県総社市小寺1553番1
TEL (0866) 92-6580
http://kibijigakuen.ecgo.jp



新年あけましておめでとございます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

今、私たちの生活は大変豊かで自由であります。みなさんが考えられている自由とはどういふものでしょうか？自由とは自分の欲望がかなえられることが自由だと思っているかもしれませんが、それは自分が持っている欲望を満たしているだけのことなのであります。その欲望が満たされたら、それが自由だと勘違いをしてしまっているのです。もとも自由という言葉は仏教用語であり、仏教の教えの中では「自由」は「自（おのず）から由（よ）る」という意味で自分で物事を見定めて自分で考え判断し、それを実践していくというのが本来の自由とされているのであります。

「考え」といふことは思うこととあり、ふつとしたことでも一方的なやりつばなしの思い、純粋な思いが本当の「思いやり」なのです。思いはやりつばなしのものであるから尊いのであります。お互いに思いをやりあうといったような思いのキャッチボールができることが理想であると思います。また、尊さがわかれば大切にするといいような人はそういう機能をもっています。私たちは考えないで物事を通り過ぎてしまつていくことが多いのであります。しかし、その現実にも気が付かず通り過ぎてしまつてしまつていくことについては、もっと怖いことでもあります。ですから、どこかで確認をしないといけないということが大事なことを思います。

それが今後の発展につながるというふうに考えますと、私たちが常日頃行っている行動の中にもまだまだ自分が見方、考え方が違つていたというものがたくさん見つかると思います。そして、一つでも多くそれを見つけていくことが個々の使命であるし課題でもあると思います。また、理想的な行動や生きざまができることも目指していきたいものであります。

「新年に思うこと」

統括施設長 小原章弘



みんなの音が一つになる

吉備路学園 自治会活動



●ゆうあいの翼 セブ島●



●日帰り明石旅行●



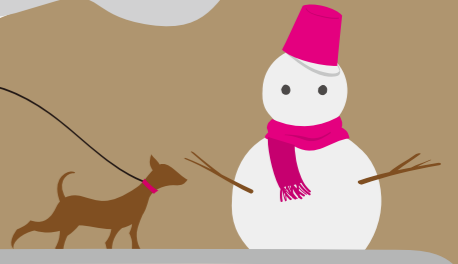
●日帰り広島旅行●



●一泊城崎旅行●



●交流祭●



「交流祭を経て」

支援員 廣木 聡

交流祭の実行委員長となり、「自分しか担えない交流祭にしよう。」このような気持ちでスタートした事を、今でもはっきり覚えております。

ご存知の方もおられますが、私は学生時代、音楽を専門とする大学で学んで来たこともあり、「音」を大切にしたい交流祭にできないかと考えました。「音」というのは、私たちの生活において、なくてはならない存在であり、いつも隣り合わせにあるものです。「音」は「交流祭」の融合こそが、私の中のテーマとなりました。

開催当日は、ご多忙中にも関わらず、多くの方々に御来場頂き、ありがたうございました。オーケストラから演奏して下さった、総社東中学校吹奏楽部は、さすが岡山を代表する、圧巻の演奏でした。ダンスコンテストでは、あらゆるジャンルのダンスを披露して下さい、利用者さんも表情豊かに観覧させて頂きました。また、当学園でリズム体操をご指導頂いている、土屋先生には、メインイベントで、会場全体が一体となる、うらじや音頭総踊りを取り仕切って頂きました。その結果、紙面では書ききれない程の大盛りとなりました。

利用者さんや地域の方々、保護者の皆様や職員、ひとりひとりが和をなす事、これを調和（ハーモニー）と言ひ、これこそが、私の掲げたテーマである、「音」と「交流祭」の融合となったのです。交流祭は、多くの人の支えがあつたもので、決して私一人の力では成し得なかつた事でした。

今回の交流祭を経て、支えて下さった皆様に感謝の意を込めて、私自身がつつと「音」となり、これからの吉備路学園のサウンズ（カラー）を支えてゆけるようにと、決意を新たにしました。

資金収支内訳表

(自)平成26年4月1日 (至)平成27年3月31日

単位:円

Table with columns: 勘定科目, 法人本部, 指定障害者支援施設吉備路学園, 吉備路学園(短期入所), 共同生活援助グループホーム, 多機能型事業所みぞくち, 合計, 内部取引消去, 事業区分合計. Rows include 事業活動による収支, 収入, 支出, 当期末支払資金残高(10)+(11).

事業活動内訳表

(自)平成26年4月1日 (至)平成27年3月31日

単位:円

Table with columns: 勘定科目, 法人本部, 指定障害者支援施設吉備路学園, 吉備路学園(短期入所), 共同生活援助グループホーム, 多機能型事業所みぞくち, 合計, 内部取引消去, 事業区分合計. Rows include サービス活動増減の部, 収益, 費用, 特別増減の部, 繰越活動増減差額の部.

貸借対照表

平成27年3月31日現在

単位:円

Table with columns: 資産の部, 負債の部. Rows include 流動資産, 固定資産, 純資産の部, 負債及び純資産の部合計.

「平成二十七年年度 親子旅行について」

支援員 伊原 良高

今年度の親子旅行は近場旅行が九月二十五日に広島方面(江波山気象館見学・リーガロイヤルホテル昼食・宮島でもみじ饅頭作り体験・遠方旅行が十月九日に兵庫方面(舞子海上ブコムナード「明石海峡大橋台展望台」・シーサイドホテル舞子ヒラにて昼食・アサヒ飲料工場見学)・泊旅行が十月二十九日〜三十日に鳥取・兵庫方面(砂の美術館鑑賞・城崎温泉宿泊・世界遺産・国宝姫路城見学)に旅行に行っていました。事前に保護者・利用者の方に希望をとりコースの中から選んでもらいました。それぞれの旅行では天気も良く怪我もなく楽しく過ごせていたのではないかと思います。近年利用者の方も高齢化が進み中々遠出の旅行は体力的に難しくなってきました。近場でも楽しい旅行になるよう来年も今年の反省を踏まえてプラン作りをしていこうと思います。最後になりますが、参加された保護者の皆様・引率職員の皆様へ協力ありがとうございました。

グループホームでの地域生活

管理者 村上 雅昭

吉備路の会のグループホームは、平成十八年十一月に開設をいたしました。グループホーム開設から、はや九年が経ち、現在六箇所の共同生活住居で合計十七名の方が生活をしています。私たちのグループホームがある総社市では、ここ近年、障がい者千人雇用の影響で、グループホーム利用希望の方が急増しており、私たちの事業所でも二年間で四箇所のホームを新設しました。それでも、まだまだ多くの方がグループホームの利用を希望されており、新しいホームの新設が急務となっています。しかし、私たちのグループホームでは、現在、新設

をしたホームの近隣住民から様々なことでお叱りをいただくことが多く、あらためて近隣の方と上手く交流を図りながら生活していくことの難しさを感じています。グループホームの入居者の方が地域の中で充実した生活を送っていくためにはやはり地域の方々との関わりが必要不可欠です。私たちも初心にかえり、少しずつでも地域の方と触れ合う機会を増やしていきけるよう取り組んでいく必要があると感じています。ただ、地域住民の方に入居者の方を理解していただくという意味では、地域の方に迷惑をかけるのではないよう配慮することのみに力を注ぐのではなく、今後も地域の方のご協力を得ながら、入居者と共に地域との交流を深め、地域にしっかりと根を張っていききたいと考えています。

「多機能型事業所 みぞくち」

サービス管理責任者 森田 宏之

みぞくちが開所して四年目を迎える今年もすでに十月が終わってしまいました。みぞくちの日の活動では、生活介護の利用者様にはウォーキング・重手活動・創作活動・自立活動の日課を毎日行っており、就労継続支援B型の利用者様は屋内作業・公園掃除・もち作業を中心に自分にごった作業を目標に向けて行ってもらっています。その他では利用者様全体で、月に数回の余暇活動を実施して色々な場所へ行き季節感を味わって頂いています。利用される方が楽しく活動して頂く為に、職員がそれぞれの目的と活動内容を考え、利用者様の「やりたいこと」「自分らしいこと」を見つくれるように様々な活動を通じて役立てるような事業所を目指します。

「ゆづあいの翼」

支援員 小野 祐喜子

十月十三日から十七日に四泊五日の行程で「フリンジ」の七ヶ島へ行きました。今回は

県内から四施設の利用者さんやご家族、職員が集い合計二十五名の参加となりました。フリンジは、日本から直行便で四時間程で着き、時差も二時間なので快適に行く事が出来ます。フリンジに降り立つと、暑い空気がアジアの匂いに包まれ、みんなワクワクしていました。また、フリンジと言えば青い空と青い海、美味しいフルーツです。今回の旅では、そんなフリンジを皆さん満喫されてきました。そしてなにより、利用者さんが困っている笑顔で手をサツと差し伸べてくれるなど、現地の方の優しい人柄がとても印象的でした。今回の旅では、日系入の方が経営されている知的障がい者の施設を訪問しました。フリンジは、障がい者の方に対して国からの保障が始とありません。それにもかかわらず皆さんから美味しい料理と楽しいダンスで私たちを歓迎して下さいました。国や言葉は違いますが、ダンスで皆が交わり笑顔でいこうになりとても楽しいひと時でした。国際交流を始め、大切な思い出として皆さんの心に残る旅となりました。

「寄付 寄贈・ボランティア協力」

平成二十七年四月一日、平成二十七年十一月三十日 (敬称略・順不同)

- 《寄付》 吉備信用金庫 山陽フードサービス ㈱誠星 中央良糧㈱ まるみ麹本店 三備石油 鈴木雄進 小川 明 《寄贈》 白神隆義 川西正樹 小野武彦 ㈱ほんだ 日本基準履員㈱ 日の丸旅行㈱ 横溝青果 《ボランティア》 ヘアユニットトリフ 増成実希 渡邊有紀 森下真心 住野拓 柳井睦

《新任職員紹介》

- 平成二十七年四月一日付 支援員 横田 福世 支援員 有本 深雪 平成二十七年六月十一日付 支援員 長尾 砂輝 平成二十七年七月一日付 支援員 榎本 政也 平成二十七年八月一日付 支援員 永田 一江 支援員 窪田 宣利 平成二十七年八月十日付 支援員 畑 麻希 平成二十七年八月十五日付 世話人 栢野 明美 平成二十七年九月十一日付 支援員 長尾 和 支援員 永田 琴子 平成二十七年六月三十日付 事務員 立花 芳美

●編集後記●

皆様、明けましておめでとうございました。年々、年始は暖かい日が続いていますが、急に冬っぽくなりましたね。吉備路学園も先日少ですが雪が積もりました。二、三か月後の春が待ち遠しいですね。本年も、色々なことに挑戦していきたくと思いますのでよろしくお願い致します。

